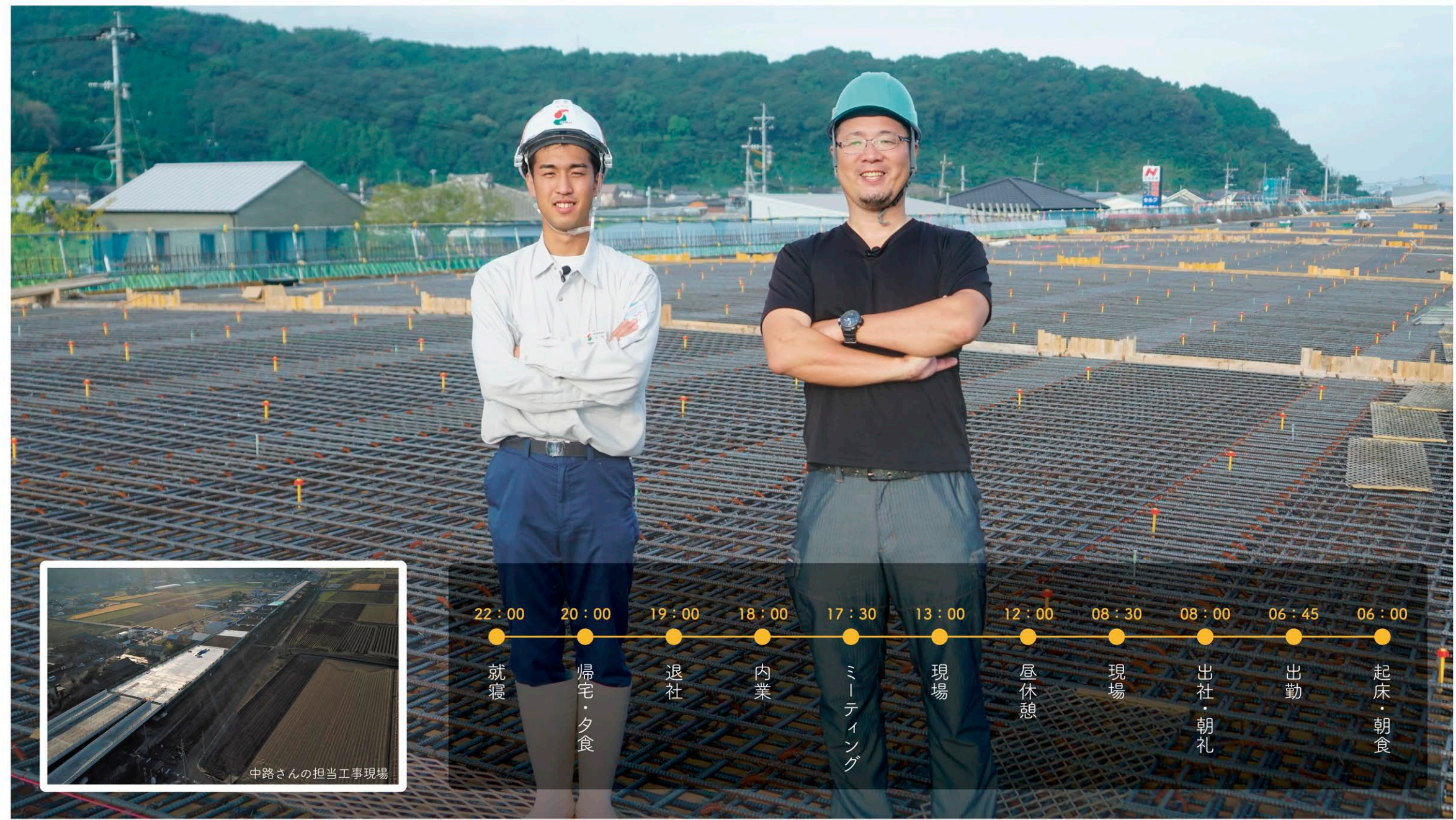




YouTube 連動企画【密着レポート】
 高校卒業して建設業に就職した20歳の現場監督の一日

みなさん、こんにちは。デミー博士です。今月号は現場監督の密着レポートをお届けします。みなさん、現場監督ってどんな仕事をしているのか知っていますか？現場監督は、現場で働く作業員の安全面を管理したり、計画どおりに工事が進むように管理を行うのが主な仕事です。なので、現場監督は現場で手を動かして工事をすることはありません。とは言ってもイメージしにくいと思いますので、現場監督に一日密着して仕事の内容をレポートします。取材はコロナ対策を十分行った上で実施しました。

今回、密着した現場監督は中路健人（なかつたけと）さん。20歳。中路さんは、大村工業高校建設工業科を2020年3月に卒業して、株式会社西海建設（長崎市）に入社。土木工事に所属。入社2年目で現場監督になりたてホヤホヤです。現在、中路さんは、国土交通省が諫早市に建設中の橋梁の工事現場で技術者の補佐を担当しています。中路さんに聞いた平均的な一日のスケジュールを左の図に示します。今回は、スケジュールに沿って現場監督の一日をレポートしていきます。



1/起床・朝食・出勤

自宅から現場（諫早市）に通っていることもあり朝6時に起床。朝食を食べて出勤。出勤時の服装は作業着。出勤は現場内にある事務所。自宅から現場事務所まで家用車を自ら運転して通勤。



2/出社・朝礼

現場事務所に着後、軽めのミーティングをして朝礼。朝礼は現場監督、作業員、交通誘導員などその日の工事関係者が一堂に集まって行います。朝礼ではラジオ体操、その日の作業内容の確認、作業時の危険予知などを行います。ここで朝礼を指揮するのが中路さんの仕事。みんなの前で話をする中路さんの姿は入社2年目とは思えないほど堂々としていました。また、朝礼を見て土木の仕事はチームワークが大切なんだと感じました。

3/現場

朝礼が終わると現場に移動。この日の作業は、床版の生コン打設。生コンを積んだコンクリートミキサー車が次々に現場に入ってきました。ここで設計通り（依頼通り）の生コンが搬入されているか検査をするのが中路さんの仕事。品質の良い（強い）構造物を造るために大切な作業です。検査が終わると（合格する）と床版に生コンの打設開始。網の目のように張り巡らされた鉄筋の隙間に生コンを充填していきます。ここで作業員が計画通りに作業を行っているのか安全に作業を行っているのか監督するのが中路さんの仕事。真剣ですよ。作業員からの要望を聞いて対応したり、作業員に指示を出したり会話が多くコミュニケーションが大切な仕事だと感じました。



4/昼休憩

昼休憩は事務所で行います。昼食はお母さんの手作り弁当。20歳の食べ盛りの中路さんは、大きな弁当をおいしそうに食べていました。その後、お腹いっぱいになったか机で仮眠をとっていました。現場にいるときの表情とは異なり、柔らかい表情だったのが印象的でした。



5/ミーティング・内業・退社

現場が終わると事務所でのその日の作業内容の確認や今後の予定のミーティング。ミーティングが終わるとパソコン作業。発注者などへの説明資料の作成、その日の作業内容の記録、今後の計画の確認などを行います。内業が終わると退社。



いかがでしたか？現場監督の仕事が少し垣間見えたのではないのでしょうか？今回の取材で印象的だったのは、中路さんがとても楽しそうに仕事をしてたことです。そんな中路さんに建設業に就職した動機を聞いてみました。中路さんのおじいちゃんには建設業で働いていて、小さい時からその姿に憧れを抱いていたことや小さい時から大きいモノ（構造物）を造る仕事をしたかったことが建設業で働きたいと思った理由のようです。中路さんは、「長崎で生まれ育ったため、お世話になった長崎の街を自分の手で造りたい」という夢があります。何事にも積極的に行動する中路さんの仕事ぶりを見て、ただで、元気が湧いてきました。若い力って素敵ですね。中路さんみたいな若者が私たちの街を造ってくれていくと想像するだけでワクワクしますよね。みんなで中路さんの活躍を応援しましょう。今回の密着レポートの様子はデミー博士のYouTubeチャンネル「デミー博士の土木TV」で公開していますので記事とあわせて御覧ください。次回は現場で働く女性にフォーカスした記事をお届けする予定です。お楽しみください。